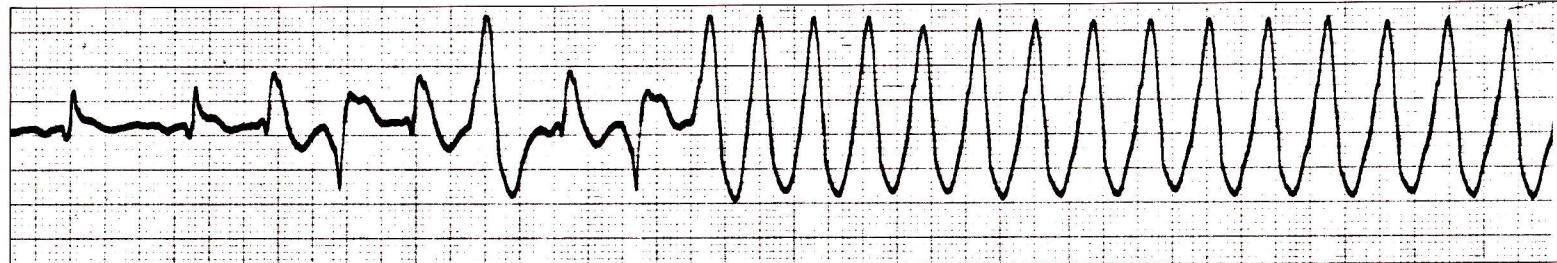


症例 43

●36歳 男

うつ血型心筋症の患者。外来通院中であったが、突然失神発作が出現するようになり、緊急入院した。入院1時間後に記録された心電図である。



- 1) このリズムは何か。
- 2) 処置はどうすればよい。

心電図診断

多源性心室性期外収縮→心室性頻拍

第9拍目以下は幅広いQRS波の連続（心拍数176/分）。P波は認められない。

→心室性頻拍。

それに先立って心室性期外収縮の連発（第3拍目～第8拍目、多源性）。

解 説

心室性頻拍のなかでも、この症例のようにQRS波の幅が広く、先行T波の上にQRS波がのるようなもの（R on T現象）は心室粗・細動に移行しやすく、たちに適切な処置をしなければならない。

処置は一般の心室性頻拍と同じである（症例42参照）。